

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	高等教育推進センター
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価			
		2010	2011	2012	2013
1. 高等教育推進センターの学内外の認知度を向上させるため、研究紀要(年1回)・ニュースレター(年4回)を発行する。	→ 1. 研究紀要・ニュースレターの発行数		A		
2. 社会への説明責任(USR)を果たすため、授業調査を毎年実施し、実施結果を学内外に公表する。	→ 2. 授業調査の実施状況、および、結果の公表		B		
3. 教授者－学習者支援システム(LUNA)を普及・定着させる。2013年までに教授者の利用率を30%とする。	→ 3. 教授者の利用率		A		
4. 高等教育に関する研究を充実させるため、研究助成などを行い、研究論文・事例研究を年10本公表する。	→ 4. 研究論文・事例研究の発表数		A		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2010	2011	2012	2013
	→				
	→				

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年3月に研究紀要「関西学院大学高等教育研究」2号を発行した。ニュースレターについては、2010年度まで発行していた、「FD NEWS LETTER」「ICT NEWS LETTER」を「高等教育推進センターニュースレター」に統合し、12月に1号、3月に2号を発行した。
目標2	授業調査については、2011年度には全数調査を実施し、2012年度からは全科目を対象に統一方式で毎年実施することが教務委員会で承認された。報告書については、学生および教職員に公表していたが、学外への公表についても検討を行う。
☆ 目標3	LUNAの「お知らせ・教材・掲示板」などへアクセスを行っている専任教員は59.4%(596名中354名)、「お知らせ・教材・掲示板」に教材や連絡事項が掲載されている科目数は、34.6%(9239科目中3194科目)であった。
目標4	「関西学院大学高等教育研究」第2号に、研究論文2本、研究ノート4本、実践研究報告4本、計10本発表した。
備考	